

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 8日

中施策事業名	市有財産管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市の財産		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市有財産が効率的に管理されている また、不要になったものは、売却することで収入に充てられている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	管財調達係が管理する市有財産の総括、市有財産の処分、他の課に属しない市有財産の 取得管理及び賃借契約、市有財産の保険、市有財産台帳及び財産の公表、土地取得特別 会計、土地開発公社、土地開発基金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不要市有地の売却 件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	0	0				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				8,896千円	8,685千円	
	a 事業費合計			8,896千円	8,685千円	11,430千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等（収入）				0千円
③ コスト（①－②）				8,896千円	8,685千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				129 円	126 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	評価：B 土地開発公社が持つ負債を管理する金融機関について、利息の軽減を目的として入札を行い負担の軽減を図った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	行政財産から普通財産となった土地について、測量等を行い売却に向けて準備を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	売却以外の策として、利用形態等条件付きの貸付を検討する。 また、旧沓掛保育園借地箇所を買取り、災害時等の多目的スペース確保を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 16日

中施策事業名	庁舎維持管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	来庁者及び職員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	営繕工事、機器類保守、清掃等の実施により適正な施設の維持管理が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	庁舎等施設・設備の保守及び管理、庁舎等施設・設備の改修・整備計画、庁舎駐車場等の管理、電力の共同購入（尾三連携）、庁舎等財産の使用料及び貸付料、公共施設の包括管理		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
建築基準法定期報告指摘事項の対応	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	30	40	50	50	50	50
	実績値	30	40				
	単位 %						
公共施設の包括管理業務委託へ向けての準備	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	25	50	75	100	100
	実績値	0	25				
	単位 %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				226,731千円	117,330千円	
	a 事業費合計			226,731千円	117,330千円	224,830千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等（収入）				0千円
③ コスト（①－②）				226,731千円	117,330千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3,295 円	1,705 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	評価：B 本館空調管理システム改修工事、本館3階空調設備改修工事及び事務室転用改修工事等を実施し、適切な施設管理に努めた。 尾三連携による電力の共同購入により、スケールメリットを活かした電気代の削減を行うことができた。 公共施設の包括管理について、サウンディング調査を実施した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	本庁舎において、本館の外壁改修工事及び新館の空調管理システム更新工事を工事担当部署と連携して進める。 電気料金の高騰による複数の新電力会社撤退に伴い、尾三連携による電力の共同購入の進め方について検討する。 電気料金削減を目的として、庁舎の照明をLED照明に更新することを検討する。 公共施設の包括管理について、どの範囲での実施がより効果的か等の検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	建築基準法第12条点検に基づく指摘事項等について工事担当部署と連携して改修工事を計画する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等